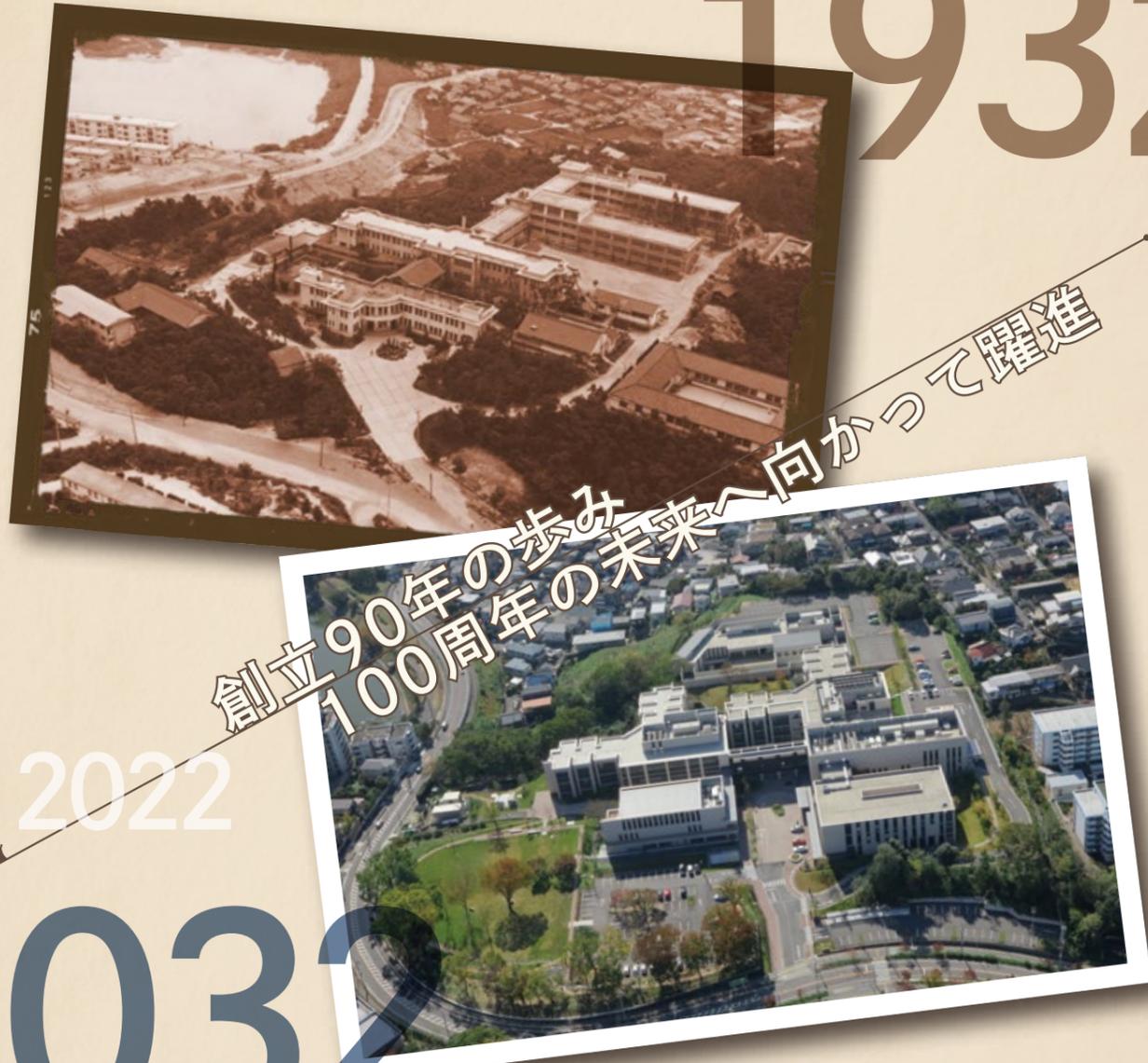


1932



創立90年の歩み
100周年の未来へ向かって躍進

2022

2032

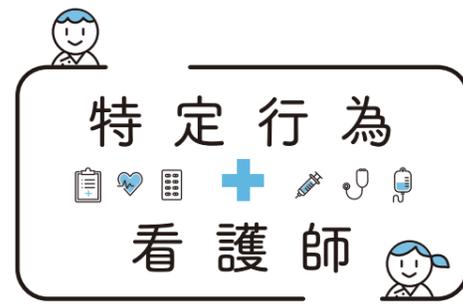
特集 愛知県精神医療センター創立90年の歩み

特定行為看護師

特定行為を活かして診療と看護を繋ぐ役割を担い、
医療・看護の質向上を目指します

INFORMATION

2023年度 愛知県精神医療センター
公開講座のお知らせ



特定行為を活かして診療と看護を繋ぐ役割を担い、
医療・看護の質向上を目指します

特定看護師とは、2015年より厚生労働省が開始した「特定行為に係る看護師の研修」を修了した看護師のことをいいます。これまで医師にしかできなかった特定の医療行為が、医師の作成した手順書により実施できるようになりました。

特定行為とは診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力、および判断力が特に必要とされます。

私は栄養及び水分管理に係る薬剤投与に関して、特定行為を修了しました。具体的には、脱水症状に対する輸液による補正と、高カロリー輸液の投与量の調整が実施できます。

特定行為の実践に限らず、院内における教育支援や、多職種チームとしてはアディクション委員会に所属し脱水評価を実施しています。今後は、病院内からアウトリーチして在宅療養支援を行うことを目的として訪問看護に同行した

り、褥瘡・栄養・感染管理とリンクする等、特定看護師の活用については、多くの可能性を有しています。

特定行為研修で学んだフィジカルアセスメントや臨床推論能力を活かし、特定行為が必要かアセスメントし、「何かおかしい」を的確に評価できれば、急変の予防や異常の早期発見が可能となります。多職種との連携も強化されるので、医療安全文化の醸成にも一役かえるのではないかと考えています。

研修は修了しましたが、実践知はこれから積み重ねていかねばなりません。今後も学習機会をつくり、自己研鑽につとめ、医療と看護の質向上に働きかけていきたいです。当院においては、特定看護師は私だけですが、パイオニアとなるよう、特定行為のやりがいや魅力を発信していければと考えています。なにかご質問などありましたら、いつでも声をかけてください！

Information

| 2023年度 愛知県精神医療センター 公開講座のお知らせ |

今年度もYouTubeによるオンデマンド方式で講座を配信します。ご案内期間中であれば、いつでもご視聴いただけます。配信期間に、愛知県精神医療センターホームページで、ご視聴のためのアドレスをご案内します。

- 第2回** | 【テーマ】精神科看護師と考えるシリーズ2回目「～生き生き！働く精神科若手看護師～」
講師：坂田 正治 精神科認定看護師 配信期間：令和5年9月22日～10月23日
新美 浩二郎 精神科認定看護師
ゲスト：若手看護師
- 第3回** | 【テーマ】精神科看護師と考えるシリーズ3回目「～メンタルヘルスに効く栄養の話～」
講師：坂田 正治 精神科認定看護師 配信期間：令和5年12月22日～令和6年1月23日
新美 浩二郎 精神科認定看護師
ゲスト：管理栄養士
- 第4回** | 【テーマ】精神科看護師と考えるシリーズ4回目「～精神保健福祉センターって何？～」
講師：坂田 正治 精神科認定看護師 配信期間：令和6年2月16日～3月18日
新美 浩二郎 精神科認定看護師
ゲスト：精神保健福祉センター職員

問い合わせ先 事務部総務グループ TEL 052-763-1511 内線 610



特集

創立

愛知県精神医療センター

History of Aichi Psychiatric Medical center

90年の歩み

当院のあゆみ

1932年 [昭和7年]

現在地に「愛知県立精神病院」
として設立

1932年 (昭和7年)	医師数	2人
	看護職員数	6人
	病床数	20床



本館、病棟の風景
(撮影時期不明)

昭和7年12月6日、全国で6番目の県立精神科病院として20床で開設され、昭和10年に100床で完成しました。

当時の精神科医療は極めて貧弱で患者さんの保護・救済が社会の課題でした。その後、昭和15年に200床に増築されました。

1947年 [昭和22年]

「愛知県立城山病院」と改称

1947年 (昭和22年)	医師数	4人
	看護職員数	24人
	病床数	200床



診察の風景(昭和20年代)

戦中戦後の食糧難、物資不足、人手不足は想像を絶する過酷なものでした。昭和23年の医局日誌には「城山病院を名実ともに充実させたいが、いつの日か、前途途遠し、過去の悪戦苦闘により、一步一步進まねばならぬ」と強い決意が記されています。

1955年 [昭和30年]

抗精神病薬の導入

1960年 (昭和35年)	医師数	14人
	看護職員数	69人
	病床数	370床



治療キャンプの風景
(昭和40年)

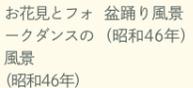
昭和30年代には中・南病棟が完成し、病床が大幅に増えました。

また、抗精神病薬の導入により寛解する患者さんが増え、レクリエーション療法も活発に行われ、当時全国的にも珍しかった「治療キャンプ」も始まりました。

1972年 [昭和47年]

全面改築工着手
(昭和53年完了)

1972年 (昭和47年)	医師数	11人
	看護職員数	106人
	病床数	380床
	平均在院日数	820日



お花見とフォークダンスの風景
(昭和46年)

昭和47年から全面改築工事が行われました。昭和48年のオイルショックによる物価高の影響で当初の計画が大幅に縮小され、デイケア棟は先送り、中・南病棟は南病棟の一部の増築を除き、改装にとどまりました。



改築後の風景(昭和53年)



改築後の風景(昭和53年)

皆様に支えられ、当院は2022年12月に90周年を迎えることができました。

今号では「創立90年の歩み」と題して、当院の歴史を振り返ります。今後も皆様に必要とされ続ける医療機関として歩んでいきます。

DATA

日本の社会情勢及び精神関連法の推移

- 精神病患者監護法施行(1900)
- 精神病院法施行(1919)
- 関東大震災発生(1923)
- ラジオ放送開始(1925)
- 昭和に改元(1926)
- 第二次世界大戦勃発(1939)
- 終戦(1945)
- 日本国憲法施行(1947)
- 精神衛生法施行(1950)
- テレビ放送開始(1953)
- 伊勢湾台風発生(1959)
- 東京オリンピック開催(1964)
- 日本万国博覧会(大阪)開催(1970)
- 第一次オイルショック(1973)
- 第二次オイルショック(1978)

1987年 [昭和62年]

デイケア棟竣工



デイケア棟竣工風景
(昭和62年)

デイケア棟は建設が先送りされましたが、昭和50年から既存施設を活用してデイケアの試行は始まりました。その需要は年々高まり、昭和62年4月に全国で9番目、東海地方では初の独立(通所)型デイケアセンターとして誕生しました。

1989年 [平成元年]

精神科応急入院指定病院の指定

1994年 [平成6年]

県精神科救急医療システムへの参加

2002年 [平成14年]

精神科急性期治療病棟の整備
第2デイケアの整備



精神科急性期病棟の風景
(平成14年撮影)

21世紀の初頭、急性期治療の充実と長期入院患者さんの地域移行支援は大きな課題でした。

平成14年には1病棟を「精神科急性期治療病棟」に改修、更に1病棟を廃止して「第2デイケア」に改修しました。

2003年 (平成15年)	医師数	12人
	看護職員数	157人
	病床数	342床
	平均在院日数	242日

2008年 [平成20年]

mECT(修正型電気けいれん療法)の導入



ECT室の風景
(令和5年撮影)

全身麻酔のもと、安全に治療を行います。

2013年 [平成25年]

ACTチーム活動開始

2013年 (平成25年)	医師数	16人
	看護職員数	129人
	病床数	342床
	平均在院日数	135日



ACTの訪問風景
(令和4年撮影)

平成25年にACTチーム(包括型地域支援プログラム)が活動を始めました。ACTでは患者さんが住み慣れた地域で安心して、その人らしく生活できるよう、多職種で、訪問支援を提供しています。

2014年 [平成26年]

DPAT発足
全面改築工事中



DPATの活動風景
(平成28年撮影)

平成26年にDPAT(災害派遣精神医療チーム)が発足し、熊本地震や新型コロナウイルス関係で派遣されました。DPAT発足以前も、阪神淡路大震災、新潟中越地震、東日本大震災にも医療チームを派遣しており、災害時の精神科医療に貢献を続けています。

2016年 [平成28年]

全面改修工事前期中工完了
「愛知県精神医療センター」と改称

2018年 [平成30年]

全面改修工完了



改築後の風景(平成30年)

平成26年から全面改築工事が行われました。新病院は県内の精神科医療の中核的病院としての役割を果たし、「地域に開かれた精神科病院」という理念のもとに整備され、名称も「愛知県精神医療センター」として生まれ変わりました。

2020年 [令和2年]

愛知県災害拠点精神科病院に指定
新型コロナウイルス陽性患者の受け入れ

2022年 [令和4年]

創立90周年

2022年 (令和4年)	医師数	21人
	看護職員数	166人
	病床数	273床
	平均在院日数	63日



改築後の風景(平成30年)

2032年 [令和14年]

100周年の未来へ
皆様とともに歩み続けます

新病院の主な機能

- ・救急、急性期
- ・成人発達障害
- ・一般・専門外来
- ・作業療法
- ・訪問看護
- ・児童、青年期
- ・医療観察法
- ・デイケア
- ・ACT

日本の社会情勢及び精神関連法の推移

- 精神保健法施行(1988)
- 平成に改元(1989)
- 阪神淡路大震災発生(1995)
- 精神保健福祉法施行(1995)
- 新潟中越地震発生(2004)
- 日本国際博覧会(愛・地球博)開催(2005)
- 医療観察法施行(2005)
- 東日本大震災発生(2011)

●熊本地震発生(2016)

●令和に改元(2019)

●新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延(2020)

●東京オリンピック開催(2021)